

令和7年度「熊本の学び」研究指定校事業 事業実績報告書

1 研究の内容

授業力向上 (○) ・道徳教育 () ・キャリア教育 (○) ・特別活動 ()
カリキュラム・マネジメント (○) ・その他 () (内容:)

2 学校の概要

(単位:人)

プロジェクト地域 (研究指定地域)	芦北町立田浦中学校区			
プロジェクト校 (研究指定校)	児童生徒数	教員数	校長名	研究主任名
芦北町立田浦小学校	130	15	緒方 尚哉	萱田 稔彦
芦北町立田浦中学校	72	15	山下 暢子	福溝 紀子

3 研究主題

「自己を見つめ、自ら問いを持ち、他者と協働しながら学び続ける児童・生徒の育成」

4 研究主題設定の理由

田浦中学校区では、令和4年度にコミュニティ・スクールを立ち上げ、今年度より「なりたい自分を目指して」を校区目標として設定し、小・中合同校内研修を実施しながら学力向上や豊かな心の育成に連携して取り組んできたところである。

また、本校区は幼い頃から入れ替わりの少ない小集団で過ごすことから、人間関係が固定化しやすく、主体性や自信の根本となる自己肯定感が低いことが課題である。

このような課題を受け、これから予測困難な社会を生きる子どもたちに、自ら未来を作り出していくために必要な資質・能力を育むことが必要であると考え、上記の研究主題を設定した。

5 研究の具体的な取組内容の実際

(1) 学ぶプロジェクト

ア 授業の工夫・改善 (わくわく授業の推進)

- ① 疑問や予想が生まれる導入の工夫
- ② 協働性を促す学び合いの工夫
- ③ 次時につながる「まとめ」と「振り返り」
- ④ 「あまなつ」授業の実践

イ コミュニケーション力・発信力を意識させるレベル表の作成

(2) つながるプロジェクト

ア 学ぶ意義や目的を見いだすキャリア教育の充実

- ① 9年間の総合的な学習の時間などのカリキュラム作成
- ② キャリア・パスポートを活用した振り返り

イ 保・小・中、地域、家庭との連携

- ① 保・小・中で連携した基本的な生活習慣の定着 (「新すまいる大作戦」)
- ② 小・中をつなぐスタートカリキュラムの作成
- ③ 学校運営協議会を中心とした地域との連携

6 目指す成果【検証方法】

自己肯定感を高めることで、自他を大切にすることを育成するとともに、夢、目標を持ち、実現に向かって学び続ける児童生徒の育成を目指す。

【i-check（県学力・学習状況調査）、児童生徒や教師の意識調査】

7 研究実施の実際

時期（月）	実施内容
4月	第1回小中合同研修（昨年度の活動報告、今年度の方向性の確認） 第2回小中合同研修（部会別研修）
6月	第3回小中合同研修（小学校大研）
7月	第4回小中合同研修（中学校大研） 第5回小中合同研修（キャリア教育講話 講師：森江 一史氏）
9月	中学校から小学校への乗り入れ授業（国語・音楽） 第6回小中合同研修（研究内容の共通理解）
10月	第7回小中合同研修（研究発表会に向けて） 熊本の学びプロジェクト校研究発表会視察（人吉市、甲佐町）
11月	第8回小中合同研修（研究概要の説明） 熊本の学びプロジェクト地域発表会
12月	田浦中学校区芦北町合併20周年記念講演会（講師：田中 杜旺氏）
2月	第9回小中合同研修（本年度の反省と来年度の計画）

8 市町村教育委員会の取組の実際

- ・芦北町教育委員会指導主事の合同研修会及び研究推進委員会への参加。校長、教頭、研究主任との協議、意見交換。
- ・公開授業に向けた事前の授業参観及び授業者への指導、助言。
- ・構想案、リーフレットへの指導、助言及び研究発表会当日の運営サポート。

9 研究の成果【児童生徒アンケート】（R7.4月 → R7.9月）

（1）仮説1について

ア【児童生徒アンケート】より

学習アンケートの結果より（R7.4月→R7.9月）	小学校	中学校
「どうしてだろう」「きっと～だろう」と考えながら学習をしていますか。	83.0% → 87.0%	△71.7% → 58.1%
クラス全体やグループ、友達同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	75.9% → 80.6%	◎55.6% → 67.7%
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	80.4% → 77.8%	◎68.3% → 79.0%
めあてをもって学習し、授業で学んだことをまとめていますか。	◎82.1% → 91.7%	69.8% → 67.7%
できたことやわかったこと、頑張ったことなどを自分で振り返っていますか。	◎85.7% → 90.7%	57.1% → 56.5%
自分の考えが上手く伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していると思いますか。	83.9% → 83.3%	66.1% → 69.4%

イ【i-check（県学力・学習状況調査）】より

- ①「教科の内容が理解できますか」 73%（△）：R6年度90%
- ②「夢中になった、勉強が面白かったと思った、やる気が出たという記憶に残った授業がありますか」 60%（○）：R6年度56%

ウ【生徒・教師感想】より

- 音楽の授業で、班の人たちの意見を聞いて同じ場面なのに情景を読み取るところが違ったり、別の音に注目して曲の良さを感じたりと、友達の意見からこの曲の良さを別の視点から感じる事ができた。【生徒感想】
- 「あまなつ」を合言葉に、教員と子供、教員同士でめざす授業についての共有化ができ、活動の充実につながった。【教師感想】

(2) 仮説について

ア【児童生徒アンケート】より

学習アンケートの結果より（R7.4月→R7.9月）	小学校	中学校
日々の授業や活動の中で、自分は成長したな、少し大人になれたなと感じることはありますか。	◎81.3% → 88.8%	77.8% → 75.8%
将来、あんな人になりたい、こんな仕事につきたいという夢や目標がありますか。	91.1% → 95.4%	◎77.8% → 85.5%

イ【新すまいる大作戦の結果】より

- ①「期間中に、メディア使用の時間に改善が見られた生徒の割合」 52%（△）：R6年度55%

ウ【生徒・保護者・教師感想】より

- 前は、いやいや言って物事から逃げてきたけれど、乗り越えられればもっと頑張ろうと思うことや、意外に楽しいかもと思うことが増えたので、これからは、まず、やってみることを大切にしていきたい。【キャリア・パスポート生徒感想】
- 生活のリズムを整えて、少しずつ受験生という自覚がついてきたように思う。友達と助け合い、優しい大人になってほしい。【キャリア・パスポート保護者感想】
- 小中合同研修をとおして、幅広い年齢層の児童生徒それぞれの実態を踏まえてすりあわせを行っていく活動は双方にとって学びがあったと思う。【教師感想】

10 研究の課題と今後の展望

(1) 研究の課題

- ・各プロジェクトの取組で成果につながっている取組もあるが、アンケートの結果から、中学校では導入の工夫やめあての意識付け、次につながるまとめと振り返りに、小学校では話し合いによる考えの深まりや広まりに課題が見られる。
- ・「あまなつ授業」（田浦小・中学校学習スタイル）については、今年度から取組を始めたこともあり、実践がまだ不十分で、全職員への意識付けが必要である。

(2) 今後の展望

- ・小中連携を基盤とした授業実践及び、「つながるプロジェクト」での取組の見直しと継続を目指す。

11 研究成果の普及

- ・リーフレット作成（令和7年度）及び学校ホームページへの掲載
- ・町内全小・中学校教員の研究発表会への参加